

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>研究</p> <p>昨年度、時価総額が上位の企業について、掲示板に投稿されたテキストデータを分析して、研究ノートにまとめたが、掲示板のテキストデータについては、同じ内容の投稿が続いていること多い場合や、その会社とは関係ないと思われる投稿などが多くみられることがあった。こういったデータを使うことについて問題があると考え、それに代わるものはないか、様々なデータについて検討したが、今のところ有望なものは見つかっていない。</p> <p>教育</p> <p>全経簿記上級問題集について分担執筆する話があり、原価計算にかかわる（管理会計的内容も含まれる）6つのトピックについて、概要の説明と練習問題及びその解答と解説を執筆した。近日中に問題集は出版される予定である。</p> <p>簿記論については、初回の動画授業について若干の見直しを行った。そして授業で使用するプリントについても若干の見直しを行った。</p> <p>管理会計論についても、初回の動画授業について若干の見直しを行った。そして授業で使用するプリントについても若干の見直しを行った。</p> <p>また、ゼミの4年生が提出したゼミ論文に目を通した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>日本会計研究学会全国大会（Web開催）に参加した。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>研究面では、掲示板のテキストデータに代わるものを検討しているが、あまり有望なものがないのが現状である。企業側が公表しているテキストデータは多く存在するが、市場参加者が企業についてのニュースを察知しているかどうかを検討する場合には、あまり良いものとは考えられない。引き続き検討してみたい。</p> <p>教育面では、紙の手形が数年先になくなる可能性があると考えられ、その場合、電子記録債権を単独で解説するのがよいのか、それとも従来通り、紙の手形の解説をしてからがよいのかといったことなどを検討してみたい。</p>	